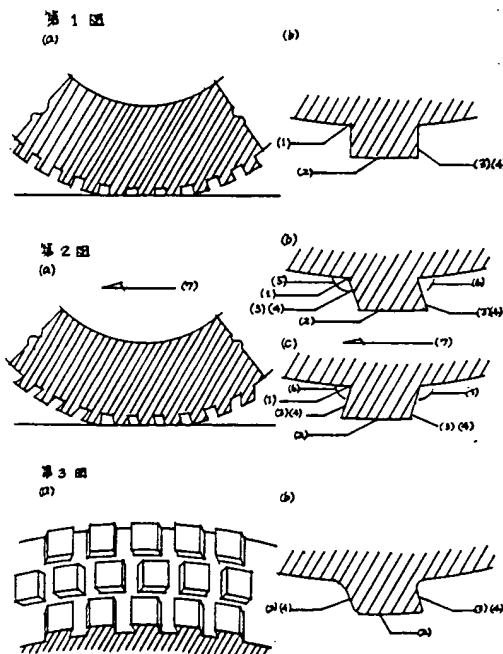
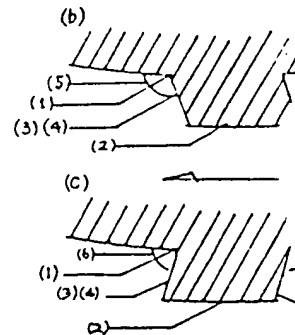


JP 363197405 A  
APR 1988**(54) TIRE TREAD PATTERN**

(11) 63-97405 (A) (43) 28.4.1988 (19) JP  
 (21) Appl. No. 61-245035 (22) 14.10.1986  
 (71) YUKIO MURASHIMA(1) (72) YUKIO MURASHIMA(1)  
 (51) Int. Cl.<sup>4</sup> B60C11/11

**PURPOSE:** To improve performance of a winter tire on a frozen road surface by combinedly arranging tread patterns with a normal line on a tread side wall between a tread base portion and a tread surface of the tread tilting either forward or backward relative to a forward moving direction.

**CONSTITUTION:** A pattern "b" in which a normal line 3 on a tread side wall 4 between a tread base portion 1 and a tread surface 2 of the tread is tilted backward relative to a forward moving direction of a tire, and a pattern "c" with said normal line tilting forward are optionally combined to constitute a tread pattern. With this constitution, respective tread patterns function effectively on respective road surface environment. Thus, the tire performance on a frozen road surface or the like can be improved.



BEST AVAILABLE COPY

209.23

⑫ 公開特許公報(A) 昭63-97405

⑬ Int.Cl.<sup>4</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和63年(1988)4月28日

B 60 C 11/11

7634-3D

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑮ 発明の名称 タイヤトレッドパターン

⑯ 特 願 昭61-245035

⑰ 出 願 昭61(1986)10月14日

⑱ 発 明 者	村 島	幸 夫	北海道小樽市長橋2丁目2番16号
⑲ 発 明 者	後 藤	弥 生	北海道札幌市中央区南7条西14丁目1361番
⑳ 出 願 人	村 島	幸 夫	北海道小樽市長橋2丁目2番16号
㉑ 出 願 人	後 藤	弥 生	北海道札幌市中央区南7条西14丁目1361番

明 細 書

1. 発明の名称 タイヤトレッドパターン

2. 特許請求の範囲

タイヤ前進方向に対しトレッド側壁の法線がトレッド基部からトレッド接地面にかけてやや後傾しているトレッドと、前進方向に対しトレッド側壁の法線がトレッド基部からトレッド接地面にかけてやや前傾しているトレッドの任意の組み合わせ配設によるトレッドパターン

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

冬の圧雪路、氷盤面において発進、制動、登坂、下り坂の安全性を向上させた冬用タイヤのためのトレッドパターンに関するものである。

(従来技術)

従来の冬用タイヤのトレッドはトレッド接地面から直角ないし直角以上の角度で作られているため氷盤面や圧雪路では摩擦抵抗が少い。従ってトレッド面が、駆動時には車<sup>前進</sup>方向に対して前方へやや倒れる形に変形し摩擦抵抗の減少

を招いていた。

(発明が解決しようとする問題点)

従来の冬用タイヤのトレッドパターンが接地面で変形し摩擦抵抗が減少するため圧雪路、氷盤面で充分トレッドパターンの性能が出しきれていなかった。

(問題点を解決するための手段)

従来のトレッドパターンが持つ以上の様な問題点を解決するために、この発明では前進、後退の駆動力がかかった場合トレッドが駆動力と車輪重量の関係でトレッド接地面の摩擦面積を最大限に作用できる様に、トレッドの大きさとゴム質及びゴム硬度と本発明の前進方向に対するトレッド側壁④の法線⑤がトレッド基部③からトレッド接地面⑥にかけてやや傾斜することにより調整するものである。

(作用)

トレッド基部③からトレッド接地面⑥にかけての法線⑤が後傾している部分では、前進の駆動力がかかった場合ゴム硬度、傾斜角度、トレッ

手続補正書 (方式)

昭和62年 2月24日

特許庁審査官 黒田 明雄 殿



1. 事件の表示

昭和61年特許願第245035号

2. 発明の名称

タイヤトレッドパターン

3. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

住所 小幡市長橋2丁目2番16号

氏名 村高 華夫



4. 補正命令の日付

昭和62年 1月27日 (発送日)

5. 補正の対象

図面の簡単な説明の欄

6. 補正の内容

明細書第5頁第8行目「図面の簡単な説明」の欄  
の(C)を削除する。

